



沓掛小学校だより

7月号

未来を拓く ～元気・やさしさ・かがやく瞳～

NO. 568

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

「ペア学習」で身に付く力

副校長 榎本 純子

本校では昨年度から算数科を中心に「ペア学習」を取り入れた授業を展開しています。今年度はそれをさらに他教科にも広げ、様々な場面でお互いの考えを伝え合う学習活動を行っています。では「ペア学習」のよさとはどのような点なのでしょう。

まず1つ目は、ペアだと気軽に意見が言えたり相談したりできるという点です。どのクラスにも手を挙げてしっかりと自分の考えを述べるができる子もいますが、恥ずかしがってなかなか意見が言えない子もいます。ペアであれば、普段の会話のように自分の思いや考えを伝えることができます。

2つ目は、自分の考えを話すことで自信をもつことができるという点です。誰でも難しい問題に取り組むときには「本当にこれでいいのかな。」と悩みますが、友達に話そうとすることで考えが整理されます。また友達がうなずいたり相槌をうったりしてくれることで「これでよかったんだ。」と安心します。自信が出てくると「みんなの前でも発表してみようかな。」という気持ちをもつ子が増えることも期待できます。

3つ目は、自分と違う見方や考え方に気付き、考えを深めたり広げたりすることができるという点です。例えば算数の学習で、答えは同じであっても、導き出すまでの過程は人それぞれ違います。「友達の考えのほうが、よりわかりやすいな。今年度はその方法を真似してみよう。」というように、見方や考え方を広げることができます。ペア学習を繰り返し行うことで、子供たちの思考力や表現力が高まっていくのです。

このように「ペア学習」には学習面でのよさがたくさんありますが、実は子供たちの心情を育てる「道徳」においても、大変重要です。

平成30年度から、これまでの「道徳」の時間

は「特別の教科 道徳」となり、教科化されるということは、すでに御存じかと思います。もちろん教科になるからといって「道徳心がある、ない」と評価するものではありません。これまでの「道徳」は、どちらかというところと一定の価値観を押し付けるような側面がありました。これからの「道徳」では、多様な課題に対して、一人一人の子供が自分自身の問題としてとらえ、向き合っていくことが大切だと言われています。「考える道徳」「議論する道徳」へと変換していくのです。

先日の道徳授業地区公開講座では、全学年で「思いやり・生命の尊さ・友情」を扱った授業を行いました。相手に思いやりをもつこと、命を大切にすることは当たり前のことですから「誰に対しても思いやりをもちましょう。」と教えれば、それで済むのかもしれませんが。でも例えば「電車で席を譲る。」ということは当たり前のことですが、「譲りたいけど勇気が出ない。」「でも相手の気持ちを考えると譲らなきゃいけない。」と様々な気持ちになります。それをペアの友達、グループの友達、クラス全体と何度も話し合う中で、子供たち一人一人が自分のこととしてとらえることができるようになっていきます。さらにペアで話し合うことを通して、相手の話を聞こうとする態度や、相手の考えを受け入れる気持ちを育てることもつながります。

本校ではこれからも、さらに効果的な「ペア学習」の方法を探りながら、よりよい授業を目指していきます。

1学期も残り2週間余りとなりました。今学期も保護者の皆様、地域の皆様の御協力のおかげで、充実した教育活動を行うことができました。ありがとうございました。